

進路だより

令和6年12月10日
早島支援学校
NO. 4 進路係発行

A B 高Ⅱ組校内実習

10月28日から、高Ⅱ組の生徒を中心に校内実習を行い、「働く」ことについて学びました。校内に「早島株式会社」を設立し、事業所からの受注作業(銅線リサイクル、カタログのサンプルはがし、ボルトの組み立て)を行いました。



事前の決意表明式では、それぞれの目標や決意を発表しました。作業の目標だけでなく、働くために必要なことは何かという事も考えて実習に挑みました。

今回の実習はA B高合同で5人の生徒が参加しました。普段とは違った雰囲気の中、作業を分担、協力して納品に間に合うようにスピードを意識しつつ、丁寧に作業を進めていきました。



実習報告会は1名が欠席で、4人の参加となりましたが、自分自身が立てた目標や、決意を元に今回の実習で頑張れたこと、気が付いたことなどをそれぞれ発表することができました。

2週間の実習を経験して、やり遂げた達成感と「これだけできるんだ!」という自信を持つと共に、協力できたことで、お互いの絆も深めることができました。今後の生活や現場実習に生かしてくれることを期待しています。



社会人講師授業



11月15日（金）の午後、AB 高等部 I 類型生徒を対象に社会人講師授業を行いました。講師に 総社市在住のリモートワーク就労者 丹原 弘世 氏をお招きし、就労移行支援事業所をリモートで利用された経験や、現在の仕事についてお話を聞きました。丹原さんが実際に仕事をするときを使用している機器の写真も紹介してくださり、身体に障害があっても環境を整えれば働くことができるということを教えていただきました。生徒たちはしっかりとメモをとりながら真剣な表情でお話を聞き、就労に向けて日頃の学校生活や現場実習で意識して取り組むべきことを改めて知ることができました。また、教職員にとってもリモートワークという働き方について理解を深める良い機会となりました。



福祉の参観日

10月22日（火）と10月25日（金）に高等部福祉の参観日を行いました。高等部生徒の進路先及び現場実習先事業所、相談支援事業所の方に学校や生徒達のことを知ってもらうことを目的として実施し、25の事業所から37名の方に参加していただきました。3校時の授業参観をしていただいた後、それぞれの事業所と関わりのある生徒の個別の教育支援計画をご拝読していただきました。また、その後は希望者のみ食堂や医ケアルームへ移動し、給食の様子も参観していただきました。

【参加された方の感想】

- OB 高ⅢB グループでは、国語・数学の授業後に振り返りをされていて、今日の様子がいつもと比べてどうだったかが分かり、対象生徒の様子が分かりやすかった。
- 利用している生徒さんの学校での様子や先生方の支援や学習を見学させていただいて、とても勉強になりました。このような機会があれば、また参加したいです。
- 今まで断片的にしか関わることができなかつたので、学校全体のことが少しでも知れてとても良かったです。就労移行支援事業所として、支援学校の生徒さんにどんなことが提供できるのかを考えるきっかけになりました。また参加したいです。
- 一人一人の生徒に先生方が丁寧に関わっておられる姿が印象的でした。
- 社会の授業で iPad を使って、共同で見られるようにする等、ICT をしっかり活用されていて、生徒も使いこなしているのもすごいと感じた。
- 実際のご様子や先生方の関わりが見られて具体的イメージを持つことができました。
- 生徒のちょっとした動作や表情を読み取り、関わりのパターンを変えていく様子等が参考になりました。

